

自らの手で始めよう

作業所ができる地球温暖化防止活動!!

トラック・ダンプトラックの省燃費運転

① 必要最低限のアイドリング



【省エネ効果(年間)】
燃料ドラム缶(1缶 200L)

大型車



2本

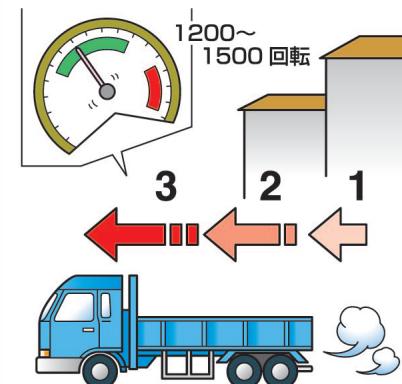
中型車



1本

※1日1時間のアイドリングストップをした場合

② 急発進、急加速を避ける



【省エネ効果(年間)】
燃料ドラム缶(1缶 200L)

大型車



24本

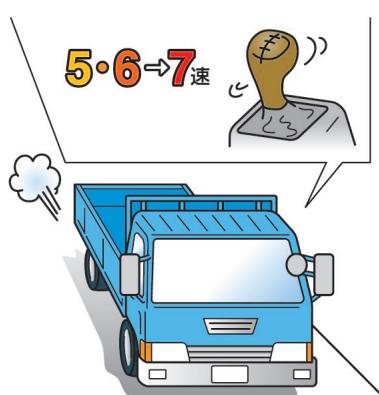
中型車



15本

※年間10万キロ走行した場合

③ 早めのシフトアップ、遅めのシフトダウン



【省エネ効果(年間)】
燃料ドラム缶(1缶 200L)

大型車



18本

中型車



12本

※年間10万キロ走行した場合

④ 波状運転の防止



【省エネ効果(年間)】
燃料ドラム缶(1缶 200L)

大型車



29本

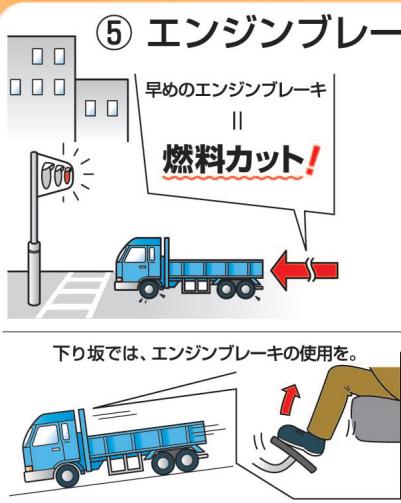
中型車



18本

※時速30~50kmの波状運転をやめ、時速40kmの定速走行で、年間10万キロ走行した場合

⑤ エンジンブレーキの多用



下り坂では、エンジンブレーキの使用を。

【省エネ効果(年間)】
燃料ドラム缶(1缶 200L)

大型車



25本

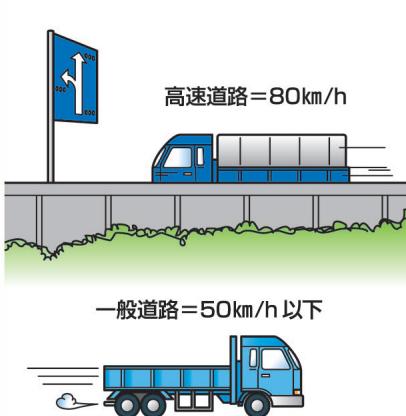
中型車



18本

※1日600回踏むフットブレーキをエンジンブレーキにした場合

⑥ 経済速度での走行



【省エネ効果(年間)】
燃料ドラム缶(1缶 200L)

大型車



24本

中型車



15本

※スピードを100km/h→80km/hにおとし、年間10万キロ走行した場合

自らの手で始めよう

作業所でできる地球温暖化防止活動!!



油圧ショベルの省燃費運転

① 省燃費モードの使用とアイドリング制御モードの使用

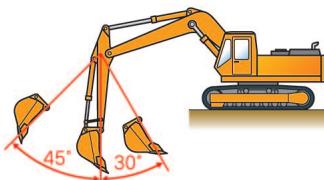
作業時は省燃費モード(Eモード)を選択



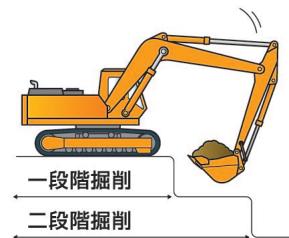
アイドリング制御モードを選択

② 作業能率の向上

掘削力を発揮させよう

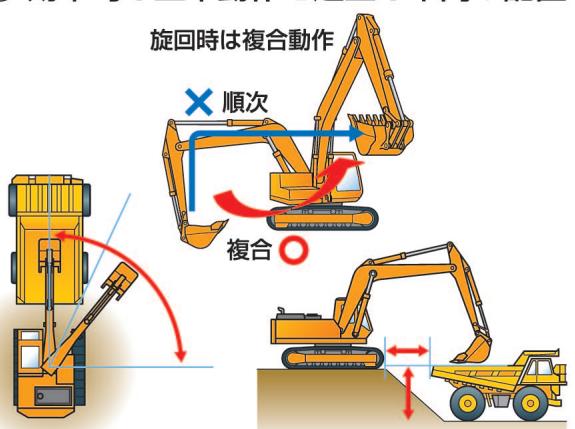


2段掘削をしましよう



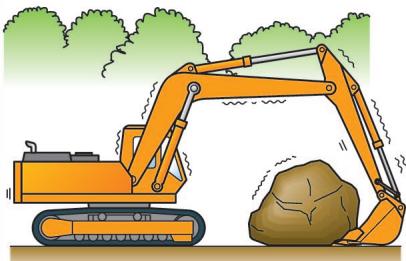
③ 効率的な空中動作と適正な車両の配置

旋回時は複合動作



④ 油圧リリーフの回避

【省エネ効果(年間)
燃料ドラム缶(1缶200L)



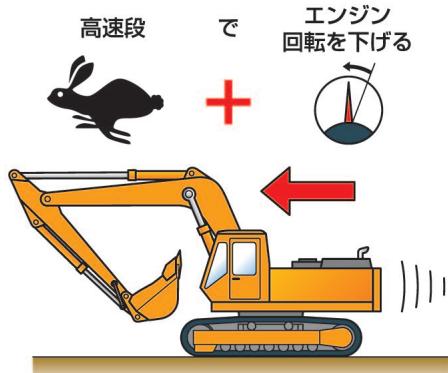
2本

※20tクラス(バケット容量0.8m³クラス)の省エネ効果

※油圧リリーフ状態を1日1時間減少した場合

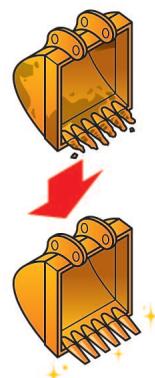
⑤ 省燃費走行

長距離走行



⑥ 定期整備と日常点検

バケット爪の磨耗
シャープに尖っていること



フィルタエレメント
の清掃、交換

- ・燃料フィルタは500時間を目安に交換
- ・エアクリナエレメントはダストインジケーター赤色サインで、清掃 or 交換

